

「登山指導者養成塾」

★事業の概要★

事業のねらい

登山指導に関する基本的な知識・技能を学ぶとともに、登山の魅力を実感し、安全な登山活動を実施できる指導者としての技術向上を図る。

期 日

平成24年8月7日（火）～8月8日（水） <1泊2日>

会 場

国立大雪青少年交流の家
十勝岳

対 象 者

学校教職員、社会教育関係者、集団登山・ハイキングの指導を考えている方

参加者数：参加募集人数

19名（参加者内訳：大学生2人、社会人2人、教育関係者15人）：20名

講 師

戸 高 雅 史 氏（野外学校 Feel Our Soul 主宰）
内 藤 美佐雄 氏（美瑛山岳会）
土 井 俊 介 氏（美瑛山岳会）
佐 藤 香 氏（国立大雪青少年交流の家 企画指導専門職）

日 程

				13:30	14:00	15:00		16:30	17:00	17:30	18:30	20:30	22:00
8/7 (火)				受付	開 会 式	(1)講演	(2)講義・演習1	休 憩	つ ど い	夕 食 ・ 休 憩	(3)講義・演習2	入 浴 ・ 休 憩	
	7:15	7:30	8:30				15:30	16:00	16:10				
8/8 (水)	つ ど い	朝 食			(4)実習		(5)まとめ	閉 会 式	解 散				

★プログラム紹介★



①講演

「登山の魅力」

野外学校 FeelOurSoul 主宰の戸高雅史氏を講師に招き、自身のK2 峰への単独登頂の体験や、日頃の活動をまとめたスライドを利用し登山の魅力や、自然との向き合い方についてお話ししていただいた。



②講義・演習1

「指導者のリスクマネジメント」

美瑛町山岳会の内藤美佐雄氏を講師に招き、十勝岳周辺での事故例をもとに登山のリスクについての認識を深めるとともに、山岳会での日頃の環境整備活動などを紹介していただいた。



③講義・演習2

「学校登山における事前指導について」

交流の家が作成した「登山の手引き」をテキストにし、登山に必要な物品や隊列・無線で交信すべき内容や天候の確認、児童・生徒に対しどのような事前指導が必要か等について学んだ。



④グループワーク

「安全な登山指導を考える」

グループワークを行い、学校登山で考えられるリスクについて安全管理の観点から対策を考え発表をとおして情報を共有した。



⑤実習

コース：交流の家→ウグイス谷コース→望岳台→十勝岳避難小屋とその周辺→望岳台

休憩ポイントでは、戸高講師から、疲れにくい歩き方の指導や、ケガ人を安全に運ぶためのノウハウと道具の使い方の工夫について紹介していただいた。



企画・運営のポイント

- ① 学校などの集団登山に焦点を当て、山の魅力を加味した上で、登山に関する基礎知識を講義・演習で学び、実習へとつなげていく体系的なプログラム構成とした。
- ② 登山を企画する上で必要となる、事前準備から終了までのリスクマネジメントについてすぐに役立つ情報提供を重点に取り入れた。
- ③ 交流の家で作成した「登山の手引き」をテキストに普及啓発を推進した。

事業を終えて(成果と課題)

- ① 事業のねらいをプログラムに忠実に反映させ構成を工夫したことにより、指導者としての資質と能力を向上させることができた。
- ② 教職員の受講者に占める割合が少ないことから、より多くの登山指導者育成に向けた広報のあり方について検討していく必要がある。

今後の方向性

- ① 広報の方法に関する課題について、登山という体験から多くの学びの可能性があることに重点をおき、学校へアクションを展開していく。
- ② 美瑛山岳会とさらなる連携強化を図り、指導者の育成に努める。